

2025 年度大学院前期課程入試問題（経済学）1 次試験 出題の意図など

問 1

ミクロ経済学の基礎的知識を問う問題であり、指定図書における関連箇所は、古沢泰治・塩路悦朗.ベーシック経済学 新版.有斐閣アルマ,2018年, p.133 の問題 5-6 である。

問 2

ミクロ経済学的分析の重要なツールである比較静学とそれを利用した経済現象の理解に関する問題である。指定図書における関連箇所は、古沢泰治・塩路悦朗.ベーシック経済学 新版.有斐閣アルマ,2018年, p. 50 - p. 52 である。

問 3

マクロ経済学の基礎的知識を問う問題であり、指定図書における関連箇所は、平口良司・稲葉大.マクロ経済学入門の「一步前」から応用まで 第3版.有斐閣ストウディア,2023年, p. 281 と p. 283 である。

問 4

マクロ経済学の基礎的知識を問う問題であり、指定図書における関連箇所は、平口良司・稲葉大.マクロ経済学入門の「一步前」から応用まで 第3版.有斐閣ストウディア,2023年, p. 219 と p. 236 問題6 である。

問 5

ミクロ経済学の基礎的知識を問う問題であり、指定図書における関連箇所は、古沢泰治・塩路悦朗.ベーシック経済学 新版.有斐閣アルマ,2018年, p. 170 と p. 176 である。